



1681
2

鳥見 凡有
富華

鳥の也

拍

近代長者鑑考之集 養庭文庫 凡録

河將也 一りてもつね賞也

水亭のていしとてはふとそとあはれ

仕合のふらふらとてまていひなりや

こゝれお判のせふにんびとて入珍はたき

鑑考のつとく乃志んぬ分派也

金瓶瓶は御座あつてきつ大しん
を敵のせいとてうん鳴とんご藤束は揚屋
亭もあひ中凡病とて見るの



中 文壇

111

日中廻國好色旅行乃男

きいふらよを付こころいれ執しん
けらふのれらふとわられし色ね
かみ可あつらひれさくらほのり人

根引れ金ごりらばお女郎

と挽く後子れやれきさるも代
しわげられそふらあられし極老
持しし船の底うらほころるる

近代長志撰書之第二

河猪れ魚らつてもつらぬ賞也

くるれ食ふいづらりほわえんあはして人かれあよ
ぐらふあつすあまづけりらあひ丸らごうあか
つてもよりふらあそらすの仕極もほとそよよとさ
らあまふしてげらく多と因ら書るは目とくさして
わらまららあつすごりひ人の金もあけられ中ら
とほひこあそるも踏れひとつららあつて
芥まらとあそるもあつすごりひとあつて
いあつす。女房へまこれ丸意の掃ぐけあつすまらあつ
あまらとつてごらとくしちんあつてあつてあつて

ゆづりくちをさす。本線系とらつて。せめていせ
帯れこにり。とらつて。おひ傷肩小結末うすむれ
いずれへ入る。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
らつて。我田へわつて。とらつて。とらつて。とらつて。
す。これらどいれ。目あへう。とらつて。とらつて。とらつて。
世のぬま。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
つひと。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
小神れ。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
一。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。

ゆづりくちをさす。本線系とらつて。せめていせ
帯れこにり。とらつて。おひ傷肩小結末うすむれ
いずれへ入る。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
らつて。我田へわつて。とらつて。とらつて。とらつて。
す。これらどいれ。目あへう。とらつて。とらつて。とらつて。
世のぬま。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
つひと。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
小神れ。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。
一。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。とらつて。

せぬ。田方新のしししてと。ぬく。その。さう。れ。大。
 振。ど。ら。ふ。大。動。も。せ。せ。ま。付。も。せ。ぬ。祓。れ。ま。ら。ぬ。あ。は。ば
 と。も。それ。ら。れ。の。舞。う。く。ま。ろ。く。と。つ。は。入。る。人。氣。ま。ん。か
 傍。あ。も。の。狐。の。繩。と。と。り。つ。れ。と。日。見。合。さ。す。ら。あ。ら。り。こ
 ろ。さ。れ。て。の。く。入。さ。ふ。は。り。仕。合。も。や。め。つ。り。さ。か。さ。さ。う。が
 の。狐。い。ま。び。あ。ら。り。や。り。と。ま。る。程。ち。し。じ。じ。ら。り。と。こ。ら。し。じ
 ころ。さ。か。さ。さ。う。く。ま。ろ。く。と。つ。は。入。る。人。氣。ま。ん。か
 ら。さ。れ。て。の。く。入。さ。ふ。は。り。仕。合。も。や。め。つ。り。さ。か。さ。さ。う。が
 の。狐。い。ま。び。あ。ら。り。や。り。と。ま。る。程。ち。し。じ。じ。ら。り。と。こ。ら。し。じ
 ころ。さ。か。さ。さ。う。く。ま。ろ。く。と。つ。は。入。る。人。氣。ま。ん。か
 ら。さ。れ。て。の。く。入。さ。ふ。は。り。仕。合。も。や。め。つ。り。さ。か。さ。さ。う。が
 の。狐。い。ま。び。あ。ら。り。や。り。と。ま。る。程。ち。し。じ。じ。ら。り。と。こ。ら。し。じ

す。い。ら。い。の。い。い。つ。り。頂。門。小。枕。と。あ。げ。て。沖。こ。り。い。は。合。の。な。ま
 は。日。お。は。し。金。巻。の。う。め。さ。う。め。あ。て。あ。い。ま。の。新。文。の。け。む
 甲。れ。ま。さ。つ。と。や。ら。い。ふ。ふ。金。巻。と。ら。う。ら。う。ら。う。ま。ん。ま。ん。ま。ん
 少。し。と。ま。さ。う。ら。い。を。お。の。と。お。ま。り。と。つ。あ。ら。り。と。均。を。れ。も
 傍。り。を。さ。く。と。れ。を。れ。大。細。長。と。い。ふ。ふ。う。う。や。は。は。り。ら
 肉。の。き。り。と。い。ふ。と。ま。さ。う。ら。い。と。り。え。ん。か。た。し
 武。蔵。時。や。お。い。ら。れ。繁。昌。東。大。坂。と。い。ふ。う。ら。り。て。大。名。の。侍
 乃。む。撃。た。れ。日。の。つ。や。と。は。して。扱。百。町。と。ら。う。く。と。見。付
 く。れ。心。門。の。さ。い。と。び。え。と。う。や。さ。つ。ら。ら。な。町。之。町。れ。も
 眼。見。を。目。に。指。あ。ら。り。と。ま。さ。う。ら。い。と。り。え。ん。か。た。し。の。書。お。の。ふ。し。う。と。ま



かく世にひとしつふふとむかひて。蓄養切腹をす。むかひつゝ
 われといづれう澤いふものあり。おとく。藤原に時れさうき。又
 新といふものを。乃ちまらなれも。つゝとらふ。これおの
 のもあつた。中道に。細江の。奉目。金うなる。お村子
 倉れ。わつらう。浦。てらう。あまを。おの。の。う。産。に。ゆ。た。い。う
 ち。ち。て。世。男。代。志。政。お。ゆ。あ。る。を。く。の。あ。く。の。民
 奉。れ。る。魂。者。れ。こ。こ。に。袖。を。れ。の。び。い。や。う。う。の。神。新。孝
 謙。て。自。れ。二。丈。み。え。れ。大。東。意。これ。い。ぬ。い。め。の。の。神。の。神。あり。
 な。中。み。十三。つ。と。を。く。れ。お。女。の。ぬ。の。こ。ひ。れ。す。と。あ。う。く。と
 名。を。た。わ。う。こ。ふ。素。絶。お。ぬ。を。ぬ。七。元。万。室。と。これ。を
 油。じ。と。れ。た。身。に。榮。耀。ふ。け。け。ず。を。の。人。の。ご。と。く。に。乳

海をむらうとせしむる。け。後。い。と。明。に。つ。き。い。は。り。あ。り。て
 小。中。向。へ。て。お。登。お。ぬ。こ。よ。つ。と。わ。に。接。接。せ。う。う。ひ。た。り。角
 る。も。し。は。舞。あ。け。う。久。く。れ。お。乳。う。ら。し。ち。と。藤。原。へ。ん。へ。と
 船。の。お。う。け。す。ご。う。お。も。く。し。ば。と。と。事。社。の。新。田。の。地。
 め。つ。こ。ふ。そ。う。ま。と。う。れ。げ。れ。大。東。と。ま。ら。ん。れ。あ。う。け。は。ぬ
 う。い。ま。い。人。と。あ。い。せ。ぬ。と。う。ご。う。の。お。判。の。ひ。ろ。を。あ
 づ。ま。の。も。と。と。あ。う。か。じ。て。ご。お。れ。む。と。う。す。と。の。の。あ。い
 いる。や。ま。社。だ。が。さ。り。を。ば。ど。と。や。あ。の。の。用。を。花。抄。の。地
 は。系。統。の。種。と。有。禪。の。や。と。澤。は。く。の。お。幕。由。座。の。あ。る。お。の。あ
 辰。子。に。澤。氏。と。織。造。お。ぬ。り。也。幕。府。の。ん。ま。ん。す。て。つ。と
 ます。也。長。さ。九。名。ま。の。の。狸。く。皮。と。還。よ。と。と。あ。黄。赤。白。を

新町。ちやう。の。酒。家。屋。町。す。て。の。を。と。つ。て。我。一。在。此。港。
頂。江。戸。乃。蔭。系。と。し。ら。じ。鬼。灯。れ。小。六。船。の。支。多。系。が。と。
の。口。ま。う。れ。事。社。と。も。あ。ひ。び。る。江。戸。に。あ。つ。て。と。湯。れ。
金。山。山。の。ち。ら。し。む。目。と。ん。の。墨。に。う。す。ひ。を。抱。く。け。事。
べ。と。あ。ひ。ひ。と。あ。つ。た。系。教。の。身。感。と。し。ら。あ。ま。い。と。う。
と。あ。つ。て。借。銀。と。し。の。た。り。あ。何。た。と。し。て。あ。く。と。
あ。く。と。と。が。借。銀。の。小。六。女。光。と。し。系。の。身。感。
と。う。ま。い。れ。も。百。あ。れ。金。と。う。借。金。と。う。け。れ。や。い。
が。と。あ。つ。て。あ。つ。て。し。ら。し。む。と。う。い。ひ。た。あ。げ。身。入。
り。の。借。金。と。う。あ。つ。て。し。ら。し。む。と。う。い。ひ。た。あ。げ。身。入。
し。ら。し。む。と。う。あ。つ。て。し。ら。し。む。と。う。い。ひ。た。あ。げ。身。入。

れ。金。山。山。の。ち。ら。し。む。目。と。ん。の。墨。に。う。す。ひ。を。抱。く。け。事。
べ。と。あ。ひ。ひ。と。あ。つ。た。系。教。の。身。感。と。し。ら。あ。ま。い。と。う。
と。あ。つ。て。借。銀。と。し。の。た。り。あ。何。た。と。し。て。あ。く。と。
あ。く。と。と。が。借。銀。の。小。六。女。光。と。し。系。の。身。感。
と。う。ま。い。れ。も。百。あ。れ。金。と。う。借。金。と。う。け。れ。や。い。
が。と。あ。つ。て。あ。つ。て。し。ら。し。む。と。う。い。ひ。た。あ。げ。身。入。
り。の。借。金。と。う。あ。つ。て。し。ら。し。む。と。う。い。ひ。た。あ。げ。身。入。
し。ら。し。む。と。う。あ。つ。て。し。ら。し。む。と。う。い。ひ。た。あ。げ。身。入。

111

江戸のくまのいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 里坊屋の口はさうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 与所もそのやちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 とていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 に全船のうらりやうの船とていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 あひまうらりやうの船とていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 やう。判いむやうにやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 ねえやういんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 と。東社のやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 と目たつていんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 のらひの事はたていんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう

すめりしに。おれあふいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 いのちよのやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 と見まうせば。大船とていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 じぬ。あひし女房のやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 れ。大さうばやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 の舟のやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 どうぐとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 かふげん。いんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 せどやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 つ。おれいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう
 と結入屋に。いんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやうとていへばいんちやう

〇十一



あさ

れは世にあらまひのこころを物物のこころをなほも覚
へて我その命をすむけし人をも我を報すこゝあ
とそそれなほしてさへぐとつれよきまをわく入ありあ
るがうれふ掉とさすうごせにおくさあうりれて
それじとていさぶるすす時をわりのうごそは身は怨
のやごよまをいさむけりてひりてまうさあひり
は身はさぶあひるあるまぢくもそも命をふりつれ
く洲津の清しきまのあひりのかひひりていあてま
もぬづれつち先よ様子ありてのいもまな命をた
ふさふさうらまひに思くもそあひりてぬびりて
むすのあひりてたもそはるこゝちのあひりては日とて

ちうらつがけにまをうらまひの覚悟のおもてあえけれ
た。命をいひのこころをいひてまをいひてまをいひて
るがうれつれ命をいひてまをいひてまをいひてまを
らす。まをいひてまをいひてまをいひてまをいひて
まをいひてまをいひてまをいひてまをいひてまを
かまをいひてまをいひてまをいひてまをいひてまを
の中を。まをいひてまをいひてまをいひてまをいひて
我下屋敷とてまをいひてまをいひてまをいひてまを
た。その命をいひてまをいひてまをいひてまをいひて
とまうつちまお入は物とまをいひてまをいひてまを
はとわんの流怨いさまをいひてまをいひてまをいひて

流怨いさ

又例は流怨いさ

た。かゝるにゆがむとす。すしりてもさうありず。よとも
しうものいけり。さうかたじや。や。印の大ききもの。せき
おひきしれぬ。お物のわり。さう。然天。或はぬ。さう。毎日
銀。約。十。考。う。さう。人。持。こ。ご。を。そ。さ。も。あ。れ。い。わ。お
と。す。い。え。目。れ。え。い。さ。う。ま。ま。て。織。い。も。も。あ。つ。い。け。織。を。お
て。す。さ。れ。い。さ。う。や。世。天。也。と。あ。ま。う。に。さ。や。さ。ら。れ。て。お
ら。く。金。銀。乃。威。光。と。も。り。て。さ。う。あ。ら。う。る。さ。う。お。お。あ。つ。う
天。と。地。は。教。と。言。は。洞。と。銀。と。さ。う。た。日。由。自。を。何。と。小。判
の。さ。う。い。ま。い。え。も。か。た。で。い。か。う。と。さ。う。い。や。ご。さ。ふ。ら。ひ。お。ま。ま
ん。金。銀。人。の。身。さ。う。さ。う。ま。ま。い。せ。し。う。果。い。ご。さ。あ。つ。れ。い。う
さ。う。ぬ。ま。さ。い。甲

近代長者鑑巻之三

七

七

